

韓国ジャパンリポーター訪日団（第1団）

韓国全土から選抜された発信力のある大学生・大学院生・社会人の若手インフルエンサー等 37 名が、テーマ「日本の地域活性化対策（宮城と大阪の事例）」の下、各種視察、同世代交流、講義聴講等を通じて、対日理解を深めると共に、日本の新たな魅力を発信します（7 月 9 日～7 月 17 日）。

事業目的

日韓関係の改善を基盤とした訪日プログラムの一環として、在韓日本大使館で韓国全土から選抜された大学生・大学院生・社会人の若手インフルエンサー等を招へいし、各種視察、同世代交流、テーマに沿った講義聴講等を通じて、日本に対する理解を深めると共に、韓国でまだあまり知られていない日本の新たな魅力を発信することで、今後の日韓間の相互理解と信頼関係増進の基盤強化に寄与することを目的とする。

実施概要

1. 実施機関：公益財団法人日韓文化交流基金

2. 日程及び内容

- ① 実施期間：2024 年 7 月 9 日（火）～7 月 17 日（水）8 泊 9 日間
- ② 人数：37 名（団長 1 名、引率 1 名を含む）
- ③ 実施日程

日 程		日程案
1	7/9（火）	入国（羽田国際空港）、【表敬】外務省、【講義】「最近の日韓関係について」、オリエンテーション
2	7/10（水）	終日、JKAF（大学生訪韓団同窓組織）の若者との交流・視察プログラム：【視察】高麗神社、【講義】高麗神社と日韓交流 1300 年、【視察】李秀賢氏追悼・顕彰碑含む新大久保フィールドワーク
3	7/11（木）	宮城県へ移動、【表敬】宮城県庁、【講義】東日本大震災からの復旧・復興の検証・伝承等について
4	7/12（金）	石巻市へ移動し、終日、石巻専修大学学生との交流・視察プログラム：【講義・視察・交流】石巻市の人口減少、商店街衰退等の対策「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを学ぶ～震災復興後のまちづくり状況」、南三陸町へ移動
5	7/13（土）	【視察】語り部バスで南三陸地域の被害と復興状況視察、【視察】震災伝承施設「南三陸 311 メモリアル」、復興商店街「南三陸さんさん商店街」、【講義】ホームステイ地域である南三陸・登米の概要について、【交流】ホームステイ対面式、ホームステイへ

6	7/14（日）	終日ホームステイ
7	7/15（月）	ホームステイより再集合、大阪府へ移動、【企業訪問・講義】日経 MJ 賞最優秀賞受賞「SEKAI HOTEL 株式会社」、講義：「まちごとホテル」で地域商店街活性化
8	7/16（火）	【テーマ視察・交流】講義に沿った視察・グループ別商店街取材及び地元の方々と交流、取材内容発表及び成果報告会
9	7/17（水）	帰国（関西国際空港）

※上記日程は今後変更になる可能性があります。